

平成 2 1 年度

公立大学法人 業務実績評価書

平成 2 2 年 8 月

福岡県公立大学法人評価委員会

## 目 次

<b>年度評価の考え方</b>	-----	1 ページ
<b>各法人の評価</b>		
<b>1 公立大学法人九州歯科大学</b>		
(1) 全体評価	-----	2 ページ
(2) 項目別評価	-----	3 ページ
<b>2 公立大学法人福岡女子大学</b>		
(1) 全体評価	-----	8 ページ
(2) 項目別評価	-----	9 ページ
<b>3 公立大学法人福岡県立大学</b>		
(1) 全体評価	-----	15 ページ
(2) 項目別評価	-----	16 ページ

# 年度評価の考え方

## 1 項目別評価（中期目標項目別評価）

評価委員会は、法人から提出された業務実績報告書等を基に、業務の実績等について調査・分析を行う。

これらの調査・分析を踏まえ、中期目標の項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開、大学改革の推進（公立大学法人福岡女子大学のみ））ごとに、中期目標・中期計画の達成に向けた業務の進捗状況及び特記事項の内容を総合的に勘案して、5段階で評価する。

- 5：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
- 4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
- 3：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
- 2：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
- 1：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある。

## 2 全体評価

項目別評価を踏まえ、中期目標・中期計画の進捗状況全体を総合的に評価する。評価は、業務の実施状況、財務状況、法人のマネジメントの観点から、記述式で行う。

組織や業務運営等に係る改善すべき事項があれば記載する。

※ 評価委員会の評価は、各法人が中期計画において設定した業務実施の計画や達成目標等を踏まえて行なったものであり、法人間の相対評価をしめすものではない。

# 公立大学法人九州歯科大学

## I 全体評価

### 1 総評

公立大学法人九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、先端的な歯科医療の知識・技術を教授するとともに、高齢者の治療や健康管理指導ができる能力、患者の痛みを理解し、円滑な意思疎通ができる能力を身に付け、歯科保健医療の分野において活躍する優秀な医療人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化4年目である平成21年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定した。

また、前年度の評価において進捗の遅れを指摘した社会貢献に係る事項については、一部なお十分な進捗が図られていない項目も見受けられたが、指摘を踏まえて改善に取り組んでいることを確認した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の平成21年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し5年目を迎え、中期目標期間6年間の仕上げの期間に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今後の中期目標の着実な達成に努められたい。

歯科医療の高度化や高齢化社会の進展など、歯科保健医療を取り巻く環境や社会的ニーズが変化する中、県立の大学としての役割を踏まえ、教育・研究はもとより社会貢献の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

### 2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、おおむね順調に進捗している。

教育について、FD活動（※）の充実や「同僚による授業評価」の全科目導入等、教育の質の改善に努めている。歯科医師国家試

験合格率が向上しており、これらの取組の成果として認められる。平成22年4月に口腔保健学科を新設したところであり、今後も教育内容の一層の充実を図り、優秀な歯科医師及び歯科衛生士の育成に努められたい。

また、教育面での特色づくりの一層の推進のため、文部科学省の大学教育改革プログラムの応募・選定に向けた積極的な取組を期待する。

社会貢献については、e-learning を活用したリカレント教育の進捗に遅れがあり、早急な取組が必要である。

なお、高齢化社会の進展に対する取組として、高齢者を対象とした地域歯科保健医療活動の実施など、公立の大学として、社会貢献に関するより積極的な事業の展開を期待する。また、学生の自主的な社会貢献活動の推進についても積極的に取り組まれたい。

※ FD（ファカルティ・ディベロップメント）

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

### **3 財務状況**

財務の状況については、附属病院経営の改善、自己収入の増加、経費の節減のそれぞれの取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

### **4 法人のマネジメント**

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

## **II 項目別評価（中期目標項目別評価）**

### **1 教育**

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 地域の発展に貢献する歯科医師及び歯科衛生士の育成

- ・FDを通して教育方法の改善を図るなど、素養教育の充実に努めているが、学生による授業評価は全般的に低く、授業満足度向上のための分析及び取組が必要である。
- ・専門医療及び先進医療に関する臨床実習の増加や学生が学習達成度を自己管理できるシステムの活用及び分析を行うなど、専門診療部門の教育内容の継続的な見直しを行っており、学生及び同僚による授業評価において高い評価を得ている。
- ・FDワークショップに全教員が参加し、活発な意見交換が行われたことを評価する。
- ・歯科医師国家試験の対策強化により、前年度に全国29大学中19位まで低下した合格率を10位に回復させている。
- ・九州工業大学と歯学・工学を融合させた領域の教育を行う大学院連携を開始し、単位互換を実施している。

(2) 適性のある優秀な人材の確保・育成

- ・歯学科の入学辞退率に増加傾向が見られることから、調査分析が望まれる。
- ・奨学金制度の充実等、学生の経済的負担を軽減する対策について検討しているが、具体的な方策を講じるには至っていない。

(3) 教育の質の改善

- ・年間10回のFD活動を行っており、各回の教員の参加率も高く、FDの推進に努めている。

(4) 学生への支援

- ・図書館の利用時間の延長等により学生の修学環境の改善に努めている。今後も利便性に配慮した環境整備に努め、更なる利用者の増加が図られることを期待する。

## 2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・研究成果に基づいた研究費の配分、事務局による外部研究費情報の提供などを行っている。論文数、学会発表数、外部研究資金獲得件数が増加しており、取組の成果として評価する。

## 3 社会貢献

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・e-learning を活用したリカレント教育について、デモプログラムの充実は図っているが、未だ本格的実施に至っておらず進捗が遅れている。

## 4 業務運営

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・会計事務の業務委託や病院事務委託職員の増員等による事務局体制の整備・機能強化、教員個人業績評価の実施・改善等、運営体制の改善と人事の適正化に努めている。
- ・安全防災委員会、新型インフルエンザ対策に係る委員会及び附属病院における事故防止のための委員会活動の実施等、安全管理体制の充実に努めている。

## 5 財務

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・患者紹介率の向上等を図り、診療報酬の確保に努めている。
- ・会計事務の外部委託や業務見直しによる時間外勤務手当の削減等、人件費抑制に努めた結果、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・摂食機能リハビリテーション科において平成20年度に比べ患者数、収入が増加している。

## 6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------



平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・平成22年度に受審する認証評価の準備を進めている。
- ・自己評価については、依然としてやや過大評価の傾向が認められる。また、理由についても記述が十分とは言い難いものがある。自己点検・評価は、主体的、自律的な大学運営を行う上での基本であり、評価結果を継続的に改善に繋げていく必要がある。より厳正な評価の実施に努められたい。

## 7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・個人情報保護及び情報公開に関する研修会を実施するなど、個人情報保護に関する職員の意識向上に努めている。

# 公立大学法人福岡女子大学

## I 全体評価

### 1 総評

公立大学法人福岡女子大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、職場、家庭、地域など社会の様々な分野において重要な役割を担うことができる優秀な女性を育成することを最も重要な使命としている。

法人化4年目である平成21年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

なお、平成20年12月の中期目標変更により、平成21年度から「大学改革の推進」が項目に追加されている。

評価の結果、中期目標項目8項目中7項目（研究、社会貢献、業務運営、財務、評価、情報公開、大学改革の推進）について「順調に進んでいる」又は「おおむね順調に進んでいる」と評定、1項目（教育）について「やや遅れている」と評定した。

なお、教育については、法人化4年目ということもあり、新学部開設を控え、課題解決を急ぐ必要があることからあえて厳しい評定としている。進捗が遅れている項目については、早急に取り組まれない。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡女子大学の平成21年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としてはおおむね順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し5年目を迎え、中期目標期間6年間の仕上げの期間に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今後の中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡女子大学は、現在、平成23年4月の新学部開設をはじめとした改革に取り組んでいるところである。県民の期待に応える魅力あふれる大学の実現に向けて、理事長のリーダーシップの下、全教職員が大学の理念と目標を共有し、一丸となって実効性の高い改革を進められることを期待する。

### 2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献、大学改革の推進に関する業務の実施状況については、教育に関してやや遅れが認められる。

教育については、キャリア教育の充実、就職支援体制の確立に努めている。また、九州大学、西南学院大学との三大学連携協力に関する基本協定に基づき、九州大学大学院オートモーティブサイエンス専攻に参画しており、今後の更なる教育・研究等の充実・改善に向けた取組を期待するところである。

一方で、ボランティア活動に対する単位認定の全学的導入の検討の遅れや、管理栄養士国家試験合格率の低下、学生の授業アンケート方法の改善の遅れなど、年度計画を十分には実施していないと認められる項目があり、全体としては進捗にやや遅れがあると判断した。

なお、教員の個人業績評価（授業活動）については、未だ十分に実施されておらず、早急な取組が必要である。

大学改革の推進については、海外の有力大学との学術交流協定締結や優秀な外国人・女性教員確保などの成果をあげており、今後一層の取組の推進を期待する。

### **3 財務状況**

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

### **4 法人のマネジメント**

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

## **II 項目別評価（中期目標項目別評価）**

### **1 教育**

評価	2 : 中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目がやや多いことから、2と評価する。

大学は、学生に対して常に質の高い教育を提供していく責務を有しており、教育の充実・改善に向け積極的に取り組むことが必要である。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育

- ・英語総合能力の養成において、TOEICテスト結果が数値目標を下回っており、向上のための一層の取組が必要である。
- ・ボランティア活動に対する単位認定について、全学的な導入に向けての検討が依然として遅れている。
- ・インターンシップの参加率が数値目標を大幅に上回っている。また、就職関連講座及びキャリアコンサルティングの回数を大幅に増やしており、キャリア教育の充実に努めている。

(2) 専門教育

- ・人間環境学部において、平成22年3月に実施された管理栄養士国家試験合格率が低下しており、合格率向上のための取組が必要である。

(3) 大学院教育

- ・四大学（福岡工業大学、九州大学、西南学院大学、福岡女子大学）が連携した「国公私立大コンソーシアム・福岡」の一環で、単位互換を実施している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・学生の授業アンケート方法の改善が遅れており、早急な取組が必要である。
- ・教員の個人業績評価（授業活動）に、学生による授業評価が反映されておらず、早急な取組が必要である。

(5) 優秀な学生の確保

- ・高校訪問件数の増加など、入試広報活動の取組は認められるところであるが、高校訪問については、より効果的なものとなるよう、訪問時期やその内容について一層の工夫・改善が必要である。

(6) 成績評価

- ・GPA制度(※)の効果的な教育活動への活用に向け、運用基準の制定等を早期に取り組みたい。

※ GPA制度(GPA=グレード・ポイント・アベレージ)

授業科目ごとの成績評価を5段階(A,B,C,D,E)で評価し、それぞれに対して、4,3,2,1,0のグレード・ポイントを付与し、この単位あたり平均を出して、その一定水準を卒業等の要件とする制度。

(7) 学習及び就職支援体制の整備

- ・補習授業の実施、教職員による企業訪問、既卒者(未就職者)に対する就職斡旋等、学生に対する支援に努めている。

## 2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・学外の研究機関との研究交流や産学官連携の推進等に努めている。
- ・産学官地域連携センターが中心となり、電子メールによる外部研究資金の情報提供、科学研究費補助金申請の学内説明会など、研究支援を実施している。外部研究資金獲得額が目標を上回っており、取組の成果として評価する。

## 3 社会貢献

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・教員免許更新制の導入に伴い、免許状更新講習を開講している。
- ・大学院において長期履修制度を導入し、社会人を受け入れる学習環境の整備に努めている。

#### **4 業務運営**

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・会計、給与支給事務等の外部委託や、新学部開設準備のための国際交流及び広報の専門職嘱託職員の採用等、事務局体制の効率化・強化に努めている。
- ・安全管理・危機管理体制・防犯体制の点検・改善、保健・カウンセリング体制の強化等、安全衛生管理の充実に努めている。

#### **5 財務**

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・教員免許更新制の導入に伴う教員免許状更新講習の開講により受講料収入が増加している。
- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、数値目標を上回る収入実績をあげている。
- ・非常勤講師の活用等により人件費抑制に努め、また、宅急便やメール便の活用により通信運搬費の節減に努めた結果、それぞれについて数値目標を上回る実績をあげている。

## 6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・自己点検・評価の実施・公表に努めている。
- ・平成22年度に受審する認証評価の準備を進めている。

## 7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・新学部開設に向け、広報体制を強化し戦略的な広報活動を行っている。更に認知度が向上し、優秀な学生の確保に繋がることを

期待する。なお、「大学広報」については、配付対象と目的を明確にするなど、より有効なものとなされたい。

## 8 大学改革の推進

評価	3 : 中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる。
----	-----------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、全体的にはおおむね計画どおり進捗していることから、総合的に判断し、3と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・新たに海外の有力大学9校と学術交流協定締結が実現したことを高く評価する。今後の活発な交流を大いに期待する。
- ・海外学習及び留学生受入支援のための奨学基金の創設に向けた準備が遅れている。
- ・新学部開設に向け、大学の理念を実現するための優秀な教職員の確保に努めており、特に、外国人教員及び女性教員を積極的に採用していることを評価する。



# 公立大学法人福岡県立大学

## I 全体評価

### 1 総評

公立大学法人福岡県立大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質をもった優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

法人化4年目である平成21年度の評価にあたっては、前年度の評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目7項目中1項目（社会貢献）について、「特筆すべき進捗状況にある」と評定、他の6項目（教育、研究、業務運営、財務、評価、情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成21年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

平成18年度に法人化し5年目を迎え、中期目標期間6年間の仕上げの期間に入っている。これまでの業務実績の分析・評価結果を踏まえ、今後の中期目標の着実な達成に努められたい。

福岡県立大学は、設立当初から地域振興の役割も担っており、地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。社会貢献に関しては、平成21年度の業務実績においても計画を上回る取組等が多数認められたところであり、特筆に値する。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、県立の大学としての役割を踏まえ、教育・研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

### 2 業務の実施状況

教育、研究、社会貢献に関する業務の実施状況については、順調に進捗している。

教育について、「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」が、文部科学省の平成21年度「大学教育充実

のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

社会貢献については、大学の知的資源を活用した各種の健康教室や資格・免許保持者へのリカレント教育、不登校・ひきこもりサポートセンターにおける相談事業等に積極的に取り組んでおり、地域に貢献する大学としての認知度の向上に繋がっていることを高く評価する。

福岡県立大学の特色となる人間社会学部と看護学部の連携についても、教育プログラムの充実を図り、受講者が大幅に増加するなど、着実な進捗が認められるところであり、今後の一層の発展に期待する。

### **3 財務状況**

財務の状況については、自己収入の増加、経費の節減の双方の取組において、順調に進捗している。

財務運営にあたっては、今後ともより一層の経営努力に努めるとともに、適切な予算管理と戦略的・効果的な予算配分を推進されたい。

### **4 法人のマネジメント**

業務運営、評価、情報公開といった法人のマネジメントの状況については、順調に進捗している。

今後とも、事務局機能の強化に努めるとともに、運営体制の改善、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルの確立、情報公開の推進に一層取り組まれることを期待する。

## **II 項目別評価（中期目標項目別評価）**

### **1 教育**

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、進捗が遅れている項目も認められるが、年度計画を上回って実施している項目が多数あり、中期計画外の取組である「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」の取組を評価し、総合的に判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・専門的職業人育成のための新コース「不況に負けない就活入門」の開設等、教養教育の充実に取り組んでいる。
- ・教養演習テキストについて、学生による編集委員会を設置し、学生の意見を取り入れた「レポートの書き方入門'10」を出版するなど、教養演習の工夫・改善に努めている。

(2) 専門教育の充実

- ・看護学部において、大学の独自性を出すためのカリキュラムの見直しなど、積極的に取り組んでいる。
- ・看護学部において、経験型実習教育導入の領域の拡大、教員と実習先指導者の連携強化等、実習教育の充実に積極的に取り組んでいる。
- ・両学部の学生が連携の必要性を一緒に学習する教育プログラムを時間割に位置付けることができ、受講者が増加している。
- ・人間社会学研究科修士課程の受験倍率が目標を下回っており、受験生確保に向けたより一層の取組が必要である。
- ・「看護系大学から発信するケアリング・アイランド九州沖縄構想」が、文部科学省の平成21年度「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されており、教育内容の充実に積極的に取り組んでいる。

(3) 教員の教育能力の向上

- ・両学部が一体となったFD活動(※)強化への積極的な取組が認められるところであるが、FD研修会等への教員参加率が目標を大幅に下回っており、参加率向上のための工夫が必要である。

※ FD (ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称。

(4) 学生の確保

- ・オープンキャンパス、入試説明会、高校訪問等、入試広報活動の取組は認められるところであるが、人間社会学部の志願者数が減少しており、質の高い学生の確保に向けた対策を期待する。

(5) 成績評価

- ・看護師の国家試験合格率100%を達成しており、取組の成果として評価する。

(6) 学生への支援

- ・キャリアサポートセンターへのスタッフ配置日数の増加、学生へのメール配信による利用促進等、就職支援体制の強化に努めている。

## 2 研究

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・新規研究プロジェクト「学びの共同体」創りをめざした英語教育の実践的研究をはじめ、附属研究所において、生涯福祉研究センター（人間社会学部）、ヘルスプロモーション実践研究センター（看護学部）の独自の研究プロジェクトや両学部連携による共同研究プロジェクトに積極的に取り組み、数値目標を上回る実績をあげている。

## 3 社会貢献

評価	5 : 中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある。
----	-----------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施するとともに、目標を大幅に上回る取組や中期計画に掲げる事項以外にも社会貢献に関する積極的な取組が多く認められたことから、特筆すべき進捗状況にあると判断し、5と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・大学の知的資源を活用し、地域住民の健康の向上のための各種健康教育事業や資格・免許保持者等に対する講習会、シンポジウム等に積極的に取り組んでいることを評価する。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、相談事業、学生による県大子どもサポーターの派遣事業及びキャンパス・スクールの受入等、活発な活動が行われていることを高く評価する。
- ・英語版ウェブサイトの充実に加えて中国語版ウェブサイトを開設したことを評価する。
- ・アジアの大学との学術交流に取り組み、新たに2つの大学と交流協定書、覚書を締結したこと、また、交換留学生の受入数が増加していることを評価する。
- ・教員免許更新制の導入に伴い、免許状更新講習を開講している。
- ・社会貢献・ボランティア支援センターを新設し、大学、学生及び地域が連携した社会貢献活動の支援を行っている。

#### **4 業務運営**

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・実習事故の防止や感染症予防対策、学生の健康管理の強化等、安全管理体制の充実に努めている。

#### **5 財務**

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 学生納付金の過年度分未納額について、未納者全員と債務弁済契約を締結している。
- ・ リカレント教育やキャリアアップ教育等の講習会料金収入が、数値目標を上回る実績をあげている。
- ・ 外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、数値目標を大幅に上回る収入実績をあげていることを高く評価する。
- ・ 時間外勤務縮減の取組や、退職教員（教授）の後任を講師等で補充するなど、人件費抑制に努めた結果、数値目標を上回る実績をあげている。

## 6 評価

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ 自己点検・評価及び個人業績評価の実施と改善に努めている。
- ・ 平成22年度に受審する認証評価の準備を進めている。

## 7 情報公開

評価	4 : 中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-------------------------------

平成21年度の業務実績については、年度計画を着実に実施し目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点又は課題とする点は、以下に示すとおり。

- ・ ホームページの全面的改訂など、情報公開の推進に努めている。